

<報道関係各位>

2020年7月13日
ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年7月13日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアド・サイエンシズと Arcus Biosciences 社 次世代のがん免疫療法の共同開発と 共同実用化を目指す 10 年間の提携契約の締結を完了

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）と Arcus Biosciences, Inc.（本社：米カリフォルニア州ヘイワード、ニューヨーク証券取引所：RCUS、以下「Arcus」）は 2020年5月27日に署名した両社のオプション、共同開発および共同実用化に関する提携契約の締結を完了したことを発表しました。

今回の取引完了は、1976年ハート・スコット・ロディノ反トラスト改正法（Hart-Scott Rodino Antitrust Improvements Act）に基づく待機期間の満了によるものです。

契約内容に基づき、Arcus は取引完了時にギリアドから1億7,500万ドルの支払いを受けました。また、ギリアドは、Arcusの株式を1株あたり33.54ドルで購入し、約2億ドルの株式投資を行いました。この投資と、Arcusが2020年5月28日に行った追加株式売出しに対するギリアドの投資の結果、ギリアドは現在、Arcusの発行済み普通株の約13%にあたる約820万株保有しています。

Arcus Biosciences について

Arcus Biosciences は、オンコロジーに主眼を置いたバイオ医薬品企業であり、高度に差別化された治療法の発見と、大きなアンメットニーズに応える新たな併用薬の組み合わせという点から広範なポートフォリオの開発を目的として、その深い各分野の専門知識を活用しています。現在、4品目が臨床段階初段階にあります。AB928 はクリニックで使用される初めてかつ唯一の二重A2a/A2bアデノシン受容体拮抗薬であり、前立腺がん、大腸がん、非小細胞肺癌、膵臓がん、トリプルネガティブ乳がん、および腎細胞がんを含む、複数の適応を対象として、いくつかの第 Ib/II 相試験で現在評価が行われています。AB680はクリニックで使用される初めての低分子CD73阻害薬であり、zimberelimabおよびゲムシタピン/nab-パクリタキセルと併用で転移性膵臓がんの一次治療とするための第I相開発段階にあります。AB154は抗TIGITモノクローナル抗体であり、PD-L1陽性転移性非小細胞肺癌の一次治療としてzimberelimab単独療法、AB154とzimberelimabとの併用療法、ならびにAB154とAB928とzimberelimabとの併用療法の3群を比較する無作為化第II相試験を実施中です。zimberelimab（AB122）は Arcusの抗 PD-1モノクローナル抗体であり、治療選択肢として承認された抗PD-1治療薬のないがんを対象に、単剤療法やArcusが開発中の化合物との併用療法を検討する第Ib相試験を実施中です。Arcus Biosciences に関する詳細については、www.arcusbio.comをご覧ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオ医薬品企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35か国以上で事業を行っています。ギリアド・サイエンシズに関する詳細は、www.gilead.comをご覧ください。

ギリアドの将来予想に関する記述

本プレスリリースは、1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスク、不確定要素、およびその他の要因を含む場合があります。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなしてください。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述のみに依拠することはお控えください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2020年3月31日を期末とするギリアドの四半期報告書（フォーム10-Q）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述は全て、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負わないものとします。

###